



PROFILE

SIROCO(シロコ)

20歳の頃に映画『フラメンコ』を観たことで、フラメンコとの衝撃的な出会いを果たす。スペイン留学を重ねる内に、フラメンコ界のトップアーティストに師事する機会を掴み、研鑽を重ねていく。2011年日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞を受賞したことを皮切りに、舞台・ライブ経験を積み重ね日本のトップアーティストへ。フラメンコダンサーとして活動し15年目となる17年にスペイン国内で開催されているコンクールへの出場を決意し挑戦。初めての出場にもかかわらず、ロンダ県で開催されている『第23回アニージャ・ラ・ヒターナ・デ・ロンダ』にて日本人男性舞踊手では初優勝という快挙を達成。18年には毎日放送の人気番組『情熱大陸』に出演。現在は自身のスタジオがある、関西を中心に、全国的にも教授活動を行い、後進の指導にも力を注いでいる。芸名であるSIROCOはスペイン語で“熱風”を意味する。
オフィシャルサイト：<https://www.siroco.jp>



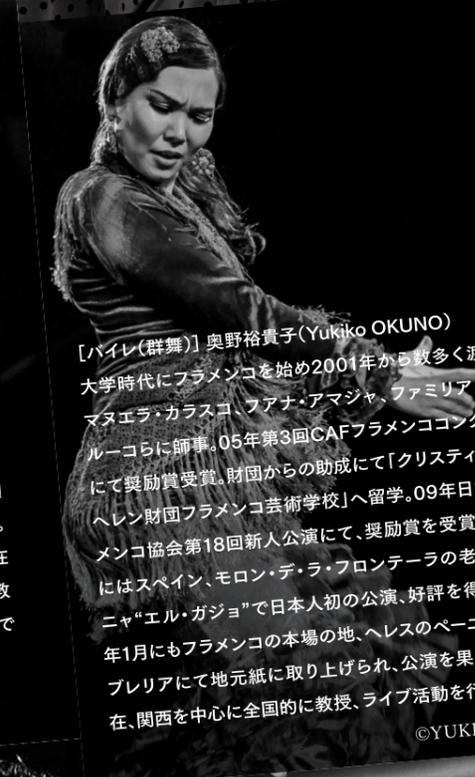
【ヴァイオリン・ピアノ】森川拓哉(Takuya MORIKAWA)
早稲田大学卒業後、ハーグリー音楽大学に留学。帰国後、様々なジャンル、楽器の演奏家との共演を重ねる。また数々の舞踊公演に音楽監督、演奏家として参加しテレビ番組の音楽担当等も多数つとめている。



【カンテ】水落麻理(Mari MIZUOCHI)
横浜出身。小学校の頃、フラメンコと出会い、田中美穂氏のもとでフラメンコ舞踊を始める。その後、カンテフラメンコに魅せられ、転向。カンテを学び始める。小森浩平氏に師事。渡西を繰り返しながら、スペインでの長期滞在により、現地でも著名な数多くの歌手に師事する。現在は、都内のタブラオ、コンクール、地方公演など多方面にわたり活動中。初心者でも歌える、をテーマに定期的にカンテクラスを開催中。最近では、2012年、石丸幹二とつのだたかしの、詩とフラメンコのコラボレーションライブに参加、古楽器にのせてフラメンコを歌うなど、活動の幅を広げている。



【カンテ】パコ・プラテアオ Francisco Chavez "El Plateao"
1977年セビージャ出身。2009年に東京エルフラメンコに初来日。その後セビージャにてミゲルバルカスとエスベランサフェルナンデスのカンパニー専属カンタオールとしてFRINGE FESTIVALに参加。2010年BIENAL DE ARTE FLAMENCO DE SEVILLAではミゲルバルカスカンパニーの作品で出演。10年11月より東京へ拠点移し活動開始。12年参天製菓(高田純次)の目録のCMの作詞・歌を担当。その後も全国の劇場やタブラオ等で活躍中。



【バイレ(群舞)】奥野裕貴子(Yukiko OKUNO)
大学時代にフラメンコを始め2001年から数多く渡西、マヌエラ・カラスコ、アナ・アマジャ、ファミリア・ファルコーらに師事。05年第3回CAFフラメンココンクールにて奨励賞受賞。財団からの助成にて「クリスティーナ・ヘレン財団フラメンコ芸術学校」へ留学。09年日本フラメンコ協会第18回新人公演にて、奨励賞を受賞。13年にはスペイン、モロン・デ・フロンテラの老舗ペーニャ「エル・ガジョ」で日本人初の公演、好評を得る。14年1月にもフラメンコの本場の地、ヘレスのペーニャ・ラ・ブレリアにて地元紙に取り上げられ、公演を果たす。現在、関西を中心に全国的に教授、ライブ活動を行う。
©YUKI OMORI



【バイレ(群舞)】影山奈緒子(Naoko KAGEYAMA)
1993年よりフラメンコを始め、佐藤桂子、森田志保氏に師事。99年に半年間スペインに留学。アンヘリータ・バルガス、コンチャ・バルガスらに師事。02年、日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。08年、スペイン・カセレスのフェスティバルに出演。現在は都内や日本各地のタブラオ、舞台にて主に活動し、他ジャンルとのコラボ、TV CMの振付なども行う。estudio CUNA主宰。



【バイレ(群舞)】松彩果(Ayaka Matsui)
20代、新体操の先生として大奮闘。29歳、フラメンコを知りたくてスペインのセビージャ、ヘレス・テラ・フロンテラに留学。人生を変える沢山の栄養をもらった。2007年『エストゥディオ・カンテラ』をオープン。18年子連れ留学を経験。刺激的な『タカラモノ』としか言えない経験を積んだ。



【カンテ】今枝友加(Yuka IMAEDA)
多摩美術大学でフラメンコに出会い、バイレを山室弘美に師事。2003年日本フラメンコ協会主催新人公演「カンテ部門」で奨励賞受賞。翌04年には「バイレソロ部門」でも奨励賞受賞。12年よりスペイン「ヘレス・デ・ラ・フロンテラ」へ移住。14年ヘレスのアーティストと共にソロアルバムを収録し、帰国。同年11月ソロアルバム「¡¡Vamos!!!」を発売。15年1月にはCD発売記念公演「VAMOS」を開催し、好評を博した。18年フェスティバル・デ・ヘレス公式プログラム「FLAMENCONAUTAS」、フィエスタ・デ・ラ・ブレリア「Jerez con Japón」に歌手として招聘。現地メディアからも高い評価を得る。現在、各地でワークショップを開講し、後進の指導の傍ら国内外各地のライブ、公演にも多数出演。
©SUNAO OHMORI



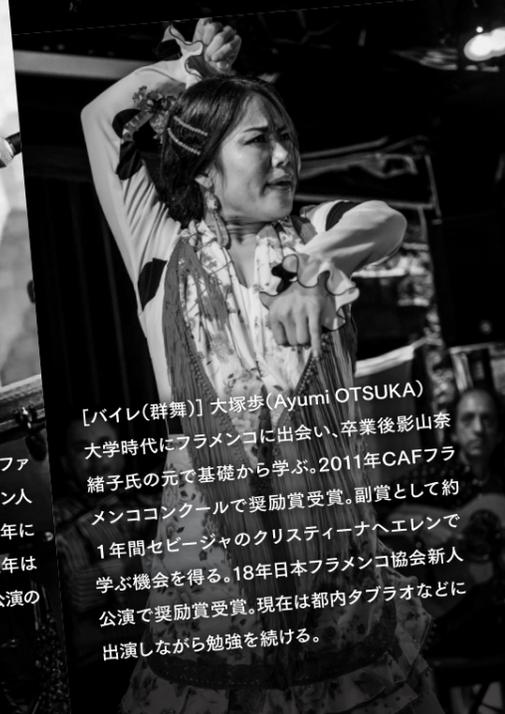
【ギター】徳永健太郎(Kentaro TOKUNAGA)
2007年中学卒業後、スペインへ渡りセビージャのクリスティーナ・ヘレン・フラメンコ音楽学院に入学。卒業後は同学院にて3年間講師を務める。09年日本フラメンコ協会新人公演奨励賞受賞。10年スペイン「アルダルシア・フラメンコギターコンクール」準優勝。同年5月、スペインにて初ソロギター公演「MecOle」出演。12月スペインのロベ・デ・ベガ劇場にて「VI Gala Flamenca」に出演し「今最も期待されるギタリスト」に選出。20年テレビドラマ『ハゲンの品格』のサウンドトラック参加。20年NHK『旅するためのスペイン語』のオープニングテーマを担当。



【バイレ(群舞)】平山奈穂(Nao Hirayama)
福岡生まれ。2017年第9回CAFフラメンコ・コンクールにて優勝を果たす。同年「日本フラメンコ協会主催フラメンコルネサンス新人公演」バイレソロ部門にて奨励賞を受賞。2018年初ソロリサイタルとして福岡アクロス円形ホールにて「El Flamenco」を開催。19年スペインのFlamenqueriaにてミゲル・ベレス、クリスティーナ・トバルと共演。同年11月東京国際フォーラム、梅田芸術劇場にてSIROCO(黒田結登)企画の壮大な公演にて豪華スペイン人アーティスト、日本人アーティストと共演を果たす。



【パーカッション】高木亮太(Ryota TAKAGI)
稲田進氏に師事。その後、スペインに渡西を繰り返してフェルキート、トロンボ、メルセデスルイス等多くのスペイン人に師事。2009年CAFフラメンココンクール優勝。10年には小松原舞踊団でセビージャのピエナルに参加。近年はパーカッションリストとして、SIROCO、徳永兄弟らの公演のサポートを行なっている。



【バイレ(群舞)】大塚歩(Ayumi OTSUKA)
大学時代にフラメンコに出会い、卒業後影山奈緒子氏の元で基礎から学ぶ。2011年CAFフラメンココンクールで奨励賞受賞。副賞として約1年間セビージャのクリスティーナヘレンで学ぶ機会を得る。18年日本フラメンコ協会新人公演で奨励賞受賞。現在は都内タブラオなどに出演しながら勉強を続ける。

©Toshiharu Kawajiri